

平成 27 年度 施設見学会 実施報告書

1. 概要

(一社)全国上下水道コンサルタント協会(水コン協)関西支部では、平成 27 年度施設見学会を実施しました。

本見学会では京都市上下水道局にご協力いただき、見学場所として上水道関連施設と下水道関連施設をそれぞれ 1 施設、計 2 施設の見学を行いました。

最初に、上水道関連施設として、日本で初めて急速ろ過方式を採用した蹴上浄水場の見学を行いました。浄水場の担当者の方から浄水処理過程に関するご説明をいただいた後、浄水処理フローの順に各施設の見学を行いました。その後、現在改良工事中である第 1 高区配水池の見学を行いました。この工事では、レンガ造りの歴史的建造物である流入弁室と流出弁室を保存するために曳家(ひきや)工法(建造物を解体や分解せずに、そのままの状態別の場所へ移動する工法)を採用しており、仮置き中の施設を見ることができました。

続いて、下水道関連施設として、西日本で最大規模の処理場である鳥羽水環境保全センターの見学を行いました。ここでは、施設の改築更新工事(同時に高度処理を導入)が順次実施されており、工事中の系列及び更新後の系列を見ることができました。また、平成 25 年度より固定価格買取制度を利用した太陽光発電の運用を開始しており、水処理施設の上屋に設置された太陽光発電設備(設置面積 17,000m²)を見ることができました。

■ 見学会の内容

I. 日時 平成 27 年 11 月 10 日(火) 12:45~17:00

II. 見学会 上水道関連施設:京都市上下水道局 蹴上浄水場

敷地面積 110,989m²、給水能力 198,000m³/日

下水道関連施設:京都市上下水道局 鳥羽水環境保全センター

敷地面積 460,460m²、処理能力 907,000m³/日

2. 参加者とアンケート調査結果

参加者は、協会員 21 名と主催者 4 名、計 25 名となりました。

アンケート調査では、どちらの施設の見学内容も「大変有意義」・「ある程度有意義」が 85%程度以上(特に蹴上浄水場は珍しい工法等を見学できたことなどから 95%以上の好評価)を占め、概ね良好な評価を頂くことができました。一方、「見学時間が短い。」「見学したい施設を見ることができなかった。」といったご指摘を頂き、反省点も多くありました。こうしたご意見・要望等は今後の施設見学会に活かしていきたいと思っております。

3. 最後に

水コン協関西支部では、毎年施設見学会を実施しています。見学会はできる限り協会員の皆様方の要望を踏まえたイベントとして実施するよう心がけています。

今後とも、水コン協の施設見学会を継続して企画してまいりますので、関係者の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

■ 蹴上浄水場



■ 鳥羽水環境保全センター

